

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	「一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保」 職員は、入居者様の人格を尊重しながら誇りやプライバシーを損ねないよう心がけてはいるが、一人ひとりの認知症の症状を理解していない所もあり、言葉がけや対応が不十分な時がある。	家庭的な雰囲気の中で、信頼関係を築き、一人ひとりに合った言葉がけや対応を行い、充実した生活が送れるよう支援していく。	認知症を理解するため、研修や勉強会へ参加していく。また、入居者様の経験を元にアドバイスを受けたら、本人らしさを発揮できるように取り組む。	12ヶ月
2	46	「服薬支援」 職員全員が、入居者様の症状の変化を観察し随時報告を行っているが、入居者様の現病や変化に基づいた薬の変更や副作用の理解についての理解は不十分な所がある。	入居者様の体調や異変による薬の変更、副作用などを確実に把握した上で仕事をし、服薬後の入居者様の状況を観察、報告することで入居者様の健康維持に努めていく。	薬の変更があれば、申し送りや連絡ノートで、変更の理由を確実に把握するようにする。 薬の情報ファイルに定期的に目を通し、現病に結びつけて薬の理解を深めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

5					ヶ月
---	--	--	--	--	----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

